

白鷹町新春賀詞交歓会 2017年の飛躍を誓い合って——

新春を寿（ことほ）ぎ、町政の一層の伸展を祈念することを目的とした新春賀詞交歓会が1月4日、JA山形おきたま白鷹支店を会場に開催されました。

この賀詞交歓会の開催は、昨年に引き続き2回目。今年も産業振興戦略会議を構成している白鷹町、町商工会、JA山形おきたま、県酪農業協同組合、（一財）白鷹町アルカディア財団、町観光協会が中心となり準備を進めてきました。当日は、佐藤町長をはじめ、町内外の各界から約160人が出席。新春のあいさつを交わしながら、今年の干支である酉の如く、大きく飛躍することを誓い合いました。



1_ 各界で町政の舵を取る方々が一堂に会し、町のさらなる飛躍を誓って一体感を深めた 2_ 西年にちなみ、「多くの人を白鷹に取り込みたい」とあいさつした佐藤町長



白鷹町現役アーティスト展 町が誇る芸術家と作品が一堂に会する

1月11日～29日の期間、町文化交流センターあゆむにおいて、白鷹町現役アーティスト展が開催されました。

これは、白鷹町現役アーティスト展実行委員会（別府忠雄会長）の主催によるもので、今回が初開催。町内在住及び故郷を離れて活動している作家計22人の絵画や工芸、彫刻がずらりと展示されました。

また、22日には出展者が一堂に会したレセプションが開かれ、別府さんが「同会を開催することが長年の夢だったので、実現できてうれしい」と喜びのあいさつを述べました。その後、出展者一人ひとりが自身の経歴や芸術に対する思いなどを言葉にし、芸術談義に花を咲かせながら友好を深めました。



1_ 「県美展入選作家」以上の業績をもつ現役アーティストの作品が展示された 2_ レセプションで喜びの言葉を述べる別府さん（右奥）と、思いを同じく話に耳を傾ける作家の皆さん

文化財防火デー 地域の宝を守る意識を高める

1月26日の「文化財防火デー」に合わせ、県の有形文化財に指定されている鮎貝八幡宮で防火祈願祭及び放水訓練、国の有形文化財に指定されている深山観音堂では29日に防火訓練が行われました。

深山観音堂の防火訓練には、深山観音堂自衛消防隊、深山区消防団、消防白鷹分署などの約30人が参加。雪で足場が悪い状況の中、119番への通報から放水まで手際良く行われました。毎年実施されている訓練ですが、参加者は「もしも」の際の一連の流れを再確認しつつ、改めて自分たちの手で地域の宝を守っていくことへの意識を高めました。

